

キャラクター名
靈山来夏(かみやまらいか)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルヒロウ オルクス	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	中学生
オプション		年齢	14	性別	女
覚醒	無知	衝動	加虐	初期侵食率	30%
出自	複数の姉妹がいる	経験	裏切られた	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	12
感覚	4	1	0			5	(非装備時)	12
精神	2	0	0			2	戦闘移動	17
社会	2	0	0			2	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:噂話	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
光玉	射撃	5r+2		3		あたしの武器!領域に浮かせてレーザー撃つ感じで!
シャイニングレーザー!	射撃	8r+2		9		C値8、侵蝕6。U59
ディレクショナルレーザー!	射撃	8r+2		9		C値8、ドッジダイス-1、侵蝕8。U59
スペクトラムレーザー!	射撃	16r+2		12(11)		C値7、ドッジダイス-1、リアクションC値+1、侵蝕14。O100

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	
コネ:UGN幹部	
コネ:情報屋	
コネ:要人への貸し	
最大財産P:	6
残り財産P:	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
靈山愛里夏	P 憧憬	N 不安		
靈山風夏	P 尽力	N 不安		
アリス	P 尊敬	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:								非オーヴァードのエキストラ化
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:								コスト分のHPで復活
コンセントレイト:エンジェルヒロウ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:								C値-SL
光の銃	1	2	セット	至近	自身	自動	-	
効果:								射撃武器作成。A値+[SL+2]
形なき剣	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:								ドッジのダイス-SL個
主の右腕	3	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:								攻撃のA値+[SL×2]
主の恩恵	3	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:								判定ダイス+SL個
領域の声	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:								判定ダイス+[SL+1]個。情報判定限定
完全なる世界	2	6	メジャー	-	-	対決	100↑	
効果:								判定ダイス+[SL+1]個、リアクションのC値+1
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

靈山来夏は、常夏美少女三姉妹の末っ子。底抜けに明るい子で、いつもにしと快活に笑っている。姉2人を敬愛し溺愛し盲愛しており、どんな人よりも姉は最強であると豪語する。少々勉強の出来は悪いものの、容姿とその明るさからクラスでの人気は最高レベル。しかし登下校時は常に姉の風夏や愛里夏と共におり、休憩時間中は不思議と姿を消しているため友だちはいないようだ。ラブレターなどの呼び出しには応じるが、告白の返事は決まってNO。断り文句は「おねーちゃんよりステキになったら、また声をかけてね!」。無理である。

靈山来夏は、常夏オーヴァード三姉妹の末っ子。「Seeker」のコードネームを与えられており、姉妹の中でも情報収集に優れている。異能^{□□}エンジェルヒロウとは生まれたときからの付き合いをしており、故郷にいた頃は風夏による支援のもと周囲には隠して生活していた。とある事件で風夏の異能がバシタとき、自分と愛里夏以外の全員^{□□}両親も含まれる^{□□}が風夏に敵意を向けたことから人間嫌いを発症。自分たちと同じオーヴァード、つまりは化け物を是とし、自分たちを否定する人間を憎むようになる。そんなFH寄りの思想を姉妹と支部長のアリスにぶちまけたとき、支部長は。

「あなたのまもりたいものは、なに?」
「私は、このまちをまもりたい。ヒト、オーヴァード、たてものまで。もちろん、あなたたちもよ」
「FHは、なにをまもらせてくれなかった。私のねがいうら、叶えさせてくれなかった」
「にんげんはどうしようもない。私も、そう思うわ」
「だから、すすんでにんげんを守るひつようはないと思うの。でも」
「えりかちゃんとふうかちゃんは、あなたの大切なおねえさんでしょう?」
「私にも、いっしょに護らせてくれないかしら」

別に人間の盾である必要はない。姉と共にいるなら、こちらの方が都合がいい。そのついでに、私を助けてくれないか^{□□}
恩人であるアリスの言葉は、来夏にすとんと落ち着いた。ただ姉のためにUGNに居ればいいという結論で決着をつけ、以後は姉とアリスのためUGNで本格的に働くようになる。